

「県民協働による事業改善」意見・提案と対応状況 [当初予算案時点]

事業名	商店街振興事業
担当部課室名	産業労働部 創業・サービス産業振興室

<p>[課題] 空き店舗の増加</p> <p>[意見交換の論点] 商店街の空き店舗に街の賑わい創出の担い手（集客力のある事業者、積極的に商店街の共同活動を担ってくれる者等）を呼び込むために必要な支援策は何か、特に、商店街が地域コミュニティとして持続可能なものとなるよう、地域住民と一緒に取り組むことができる施策としてどのようなものが適当かという視点で、ご意見をいただきたい。</p>

1 出店希望者に対する情報発信等

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算案での対応
1	空き店舗の状況等(店の規模、店舗内外の雰囲気、オーナーの期待、商店街の他店の方の期待、商店街の色など)に関する広報の積極的実施	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色や商店街の活用方法、情報発信等を検討するための取組の支援などを検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
2	首都圏の有名店等を空き店舗にアンテナショップとして誘致、ワインのセレクトショップの誘致を行う。	ご提案も参考にしながら、商店街の空き店舗への出店者を誘致するセミナーの首都圏等での開催などを通じて検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
3	「空き店舗活用のためのマッチングイベント」の成果は出始めているが、ミスマッチのケースもあり、それを進めるあと一歩の要件は何なのか考えていく必要がある。	創業者や商店街関係者等と意見交換を行いながらミスマッチの要因について研究してまいります。
4	空き店舗を、他分野の企業のブース的利用などアンテナショップ的、情報収集発信拠点としてなどとして活用することを検討したらどうか。	空き店舗の活用方法や効果的なPRについて今後の事業展開の参考とさせていただきます。
5	若くて意欲的な者に移住してもらい、空き店舗を活用してもらうための支援が必要	首都圏等での創業セミナーの開催など、移住創業希望者へのPRを検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
6	外部から担い手を呼び込むのではなく、地元の子どもに商店街に愛着を持ってもらい、開業者になってもらうことが重要	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色等を検討する際に、市町村等とも連携して地元の若者にも参加を促すなどの取組を検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※

2 商店街を担う次世代のリーダーの育成等

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算案での対応
7	地区別のリーダー育成・研修会の開催	<p>県商店街振興組合連合会、県商店会連合会と連携しながら、次世代を担うリーダー育成に向けた研修会の開催等について検討してまいります。</p> <p>商店街共同活動支援事業<1,800千円> 商店街等が直面する諸問題を解決するために、商店街団体が積極的に企画・実施する事業に対し支援を予定</p>
8	街に対する思いや愛着を持ち、自慢できる街にしようとするエネルギーが必要であり、そのためは、タウンマネージャーやアドバイザーといった外部の専門家の活用が必要	市町村等とも連携して、モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色等を検討する際に専門家を活用することについて、検討してまいります。また、(株)全国商店街支援センターが実施している商店街よろず相談アドバイザー派遣等の支援メニューを周知してまいります。
9	創業のため、専門家の支援、大学等との連携が必要	<p>ながの創業サポートオフィスでのワンストップ相談受付、創業間もない者への専門家無料派遣及び信州大学等と連携した創業イベント開催等の継続を検討してまいります。</p> <p>中小企業振興センター事業(サポートオフィス事業)<12,450千円></p>

3 商店街の利用者増のための施策

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算案での対応
10	SNSの情報発信等の支援に参画する県民を「商店街コンシェルジュ」として任命する。	SNSによる情報発信は有効であるので、今後の事業展開の参考とさせていただきます。
11	イベント実施等のため設置するコミュニティ施設整備への支援	コミュニティ施設等の整備については、元気づくり支援金の活用の検討や、まちづくりの一環としての整備を促してまいります。
12	イベントに頼らず、商店街自らが活動することが必要	ご提案を参考に、商店街関係者とも意見交換し、今後の商店街活動を検討してまいります。
13	コミュニティセンター等市民が集まることができる場を設ける。	コミュニティ施設等の整備については、元気づくり支援金の活用の検討や、まちづくりの一環としての整備を促してまいります。
14	空き店舗を旧街道宿や門前町等のイメージでの復元整備、名所・旧跡等のPRなど	ご提案を参考に、地域の歴史や特徴を活かした空き店舗の活用等について検討してまいります。

4 新たな商店街像の構築

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算案での対応
15	昭和期の商店街モデルが限界であり、新たな商店街像(例:商店街の空き地を市民農園として利用するなど多様なモザイク状の都市化)描き、育むためのプラットフォーム形成に対する支援	ご提案を参考にしながら、商店街関係者等民間主導による継続的な空き店舗活用支援について検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
16	空き店舗に対する支援を行う場合は、同時に「生活街」として魅力のあるエリアにすることを進めていく必要がある。	「生活街」として魅力のあるエリアとなるよう、ご提案の趣旨を参考にしながら、商店街のあり方やその支援について検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
17	若者の発想を取り入れる。	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色や新しい使い方等を検討する際に、市町村等とも連携して地元の若者にも参加を促すなどの取組を検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>(H31新規事業)※
18	商店街が目指すミッションを「健康長寿世界一」に統一し、食と環境を意識した地域支援の商店街を目指すべき	県内すべての商店街のコンセプトを統一するのは困難ですが、ご提案も参考にしながら、今後の商店街のあり方を検討してまいります。
19	新たな商店街のビジョンを商店街周辺の住民も参加して議論する場が必要	商店街外の人材を巻き込んだ空き店舗活用の取組について、ご提案も参考にしながら、今後の商店街のあり方を検討してまいります。

5 その他

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段:平成31年度当初予算案での対応
20	規制緩和、税制優遇、財政支援	中小法人の創業等を促進とともに、創業後の経営安定化を支援するため、創業後3年間法人事業税の全額免除を行っています。また、元気づくり支援金を活用してイベント開催や空き店舗対策等について助成しています。今後も、商店街や市町村からの要望に応じて必要な措置を検討してまいります。

※商店街魅力づくり応援事業(H31新規事業)

モデル地域の商店街において、地域外の人材を巻き込んで実施する空き店舗等を活用した商店街活性化を支援

<「学生からの意見・提案」に続く>

学生からの意見・提案

[課題]

空き店舗の増加

[意見交換の論点]

商店街の空き店舗を使って開業しようとする若者に対する効果的な情報発信（PR）方法を具体的に提案していただきたい。

	意見・提案の要旨	意見・提案に対する県の考え方 ※表下段：平成31年度当初予算案での対応
21	まちなか探検イベントとして、職業体験、創作体験や見学を行う。	モデル地域の商店街において、商店街ならではでの体験を盛り込んだ取組検討の参考とさせていただきます。
22	商店街側が出展してほしい店舗のテーマを設定し、出展者を募集する「まちづくりコンペ」を実施（優秀者に支援を行う）	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色等を検討する参考とさせていただきます。
23	空き店舗改装費に対する補助	市町村等の支援制度の周知を行うとともに、改修目的に応じて、元気づくり支援金の活用を促してまいります。
24	所有物件の抱える課題と、それに対する解決策を紹介するため「空き店舗活用ガイドライン（手引き）」の作成、配布	「信州で始めるあなたのお店」応援事業の事例を紹介するとともに、ガイドラインの作成については、建設部や市町村とも連携しながら研究してまいります。
25	高校生が商店街で商品開発、販売、起業等を行う	高校生のチャレンジショップの実施については、先行事例を他地域へ紹介するなど、事業展開を研究してまいります。
26	大学生による商店街マップの作成、参加大学の学部の特性を活かしたイベントの実施	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色等を検討する際に、市町村等と連携して、大学生にも参加を促すことを検討してまいります。 商店街魅力づくり応援事業<1,949千円>（H31新規事業）※
27	複数商店街、NPOなどによる実行委員会を設立し、七夕やハロウィン等に合わせて定期的なツアーアイベントを実施	先行事例も参考にしながら、複数の商店街との連携について研究してまいります。また、イベントの実施については元気づくり支援金の活用を促してまいります。
28	商店主や地域住民が参加するワークショップを実施し、商店街マップを作成	モデル地域の商店街において、商店街関係者が地域外の方と一緒に街の特色等を検討する際に、市町村等と連携して、商店主や地域住民にも参加を促すことを検討してまいります。

※ 商店街魅力づくり応援事業（H31新規事業）

モデル地域の商店街において、地域外の人材を巻き込んで実施する空き店舗等を活用した商店街活性化を支援